

NEWS RELEASE (令和8年1月16日)

鹿児島ロケット6号機 ユピテル 羽衣シックス号

鹿児島ロケット7号機 ユピテル 羽衣シックス号

打上げ実験(2者共催)と安全講習等について

報道機関 各位

平素より大変お世話になっております。鹿児島大学鹿児島ハイブリッドロケット研究会と南種子町宇宙開発推進協力が共催で実施する小型ハイブリッドロケット(鹿児島ロケット6号機 ユピテル 羽衣シックス号, 鹿児島ロケット7号機 ユピテル 羽衣シックス号)の打上げ実験と安全講習等について、以下のとおりお知らせいたします。つきましては是非取材・報道くださいますようお願い申し上げます。また、別紙1の通り、令和8年2月12日(木)に安全講習と機体・ペイロード公開を行いますので、併せてご案内いたします。

【共催】

鹿児島大学大学院理工学研究科 DX コネクトセンター所管「鹿児島ハイブリッドロケット研究会」と南種子町宇宙開発推進協力の共催で打上げ実験を実施します。

【経緯】

鹿児島ハイブリッドロケット研究会(Team KROX)は、平成28年度から小型ロケットの開発に取り組んでいます。令和6年2月に打上げた5号機は、パラシュート紐の破断等により着水後の機体回収ができませんでしたが、最重要課題としていたパラシュートの2段階放出に成功しました。この度、改良型の6号機, 7号機が完成しました。打上げ実験の期間と場所が決まりましたので、お知らせいたします。

また、鹿児島ロケット6号機打上げに対し、株式会社ユピテル様、株式会社ソフト99コーポレーション様、株式会社マルマエ様、株式会社藤田ワークス様、有限会社池山建設様、新光エンジニアリング株式会社様から多額のご寄附をいただきました。鹿児島ロケット7号機には、株式会社ユピテル様、株式会社マルマエ様、株式会社藤田ワークス様、有限会社池山建設様、新光エンジニアリング株式会社様から多額のご寄附をいただきました。機体はそれぞれ「鹿児島ロケット6号機 ユピテル 羽衣シックス号」、「鹿児島ロケット7号機 ユピテル 羽衣シックス号」と命名することといたしました。

【打上げ日時と場所】

日時: 令和8年2月24日(火)9:00~17:30 (2機打上げ)

予備日 翌2月25日(水)~ 2月28日(土)

場所: 鹿児島県熊毛郡南種子町 前之浜海浜公園付近海岸

【6号機主要諸元】

機体 : 全長2.6m、直径140mm、質量19kg（全長、質量は微調整の可能性あり）
燃料・酸化剤 : アクリル樹脂等・液体酸素
計画到達高度: 約650m

【7号機主要諸元】

機体 : 全長2.7m、直径140mm、質量22kg（全長、質量は微調整の可能性あり）
燃料・酸化剤 : アクリル樹脂等・液体酸素
計画到達高度: 約2.6km

【現地取材】

打上げ実験を安全に実施するため、現地に取材に来られる報道機関は、鹿児島大学で実施する安全講習の受講を必須といたします。詳細は別紙1をご覧ください。詳細は安全講習で説明いたしますが、打上げ前日のリハーサル時と、打上げ当日のロケット回収後は、射点周辺の指定場所で指定時間内での取材が可能です。

【一般見学について】

射点から230m以上離れた場所に見学エリアを設けます。交通規制は行いませんが、駐車場所等は現地スタッフの指示に従ってください。

【インターネット中継】

当日は、KKB 鹿児島放送様にインターネット中継を行っていただく予定です。通信状況次第では録画放送になります。

【情報発信】

打上げやインターネット中継に係る情報発信は以下の通り行います。

2月20日まで DX コネクトセンターHP <https://dxcc.eng.kagoshima-u.ac.jp/>

2月21日以降 Team KROX エックス <https://twitter.com/kroxteam>

打上げ前日まで 南種子町宇宙開発推進協力会フェイスブック, エックス

<https://www.facebook.com/minamitane.kyouryokukai>

https://x.com/minamitane_sda

【打上げ日までの作業内容】

機体の重心位置の微調整、機体と地上とのデータ通信の確認、ペイロードの搭載、支援スタッフとの打合せ、作業手順の確認など。

【鹿児島ハイブリッドロケット研究会】

鹿児島大学大学院理工学研究科 DX コネクトセンター所管 鹿児島ハイブリッドロケット研究会。会員63名（代表: 片野田洋（理工学研究科）、副代表: 高口裕芝（元第一工科大学）、企業13社、他一般会員37名、学生会員25名、令和8年1月1日現在）。

【用語解説】

ハイブリッドロケット：高分子化合物の固体燃料を液体又は気体の酸化剤で燃焼させるロケット。燃料が爆発しない安全性が最大の長所。Team KROX ではアクリル樹脂等の燃料を液体酸素で燃焼させる方式を採用。機体の構成部品は、プラスチック、酸素、ステンレス鋼、アルミニウム合金、電子部品、炭素繊維強化プラスチック(胴体)、ガラス繊維強化プラスチック(胴体)。有害物質を使っていないため、海を汚染しません。

【問い合わせ先】

鹿児島大学大学院理工学研究科
DX コネクトセンター 永重 一博
E-mail: dxcc_task@eng.kagoshima-u.ac.jp

南種子町宇宙開発推進協力会事務局
(南種子町役場企画課内) 小川 和輝
電話 0997-26-1111 FAX 0997-26-1116
E-mail: spacetown1@town.minamitanet.lg.jp



プレスリリースへのご質問に対する回答は、Team KROX の HP
<http://www.mech.kagoshima-u.ac.jp/~katanoda/hybridrocket.html>

に随時掲載いたします。電子メールでの回答はいたしませんので、ご了承ください。また、Team KROX 代表(片野田洋 教授)への電子メールや電話でのご質問は、打上げ準備の妨げになりますので、ご遠慮ください。

報道機関向け

鹿児島ロケット6号機 ユピテル 羽衣シックス号

鹿児島ロケット7号機 ユピテル 羽衣シックス号

打上げ実験の安全講習と機体・ペイロード公開のご案内

1. 日時 令和8年2月12日(木) 13:00受付開始, 13:30~16:30

2. 場所 鹿児島大学工学部 稲盛会館 (別紙2参照)

3. 申込方法

2月5日(木)17:00 までに5. の申込みフォームから申し込んでください。

(1) 報道機関名

(2) 参加者氏名(全員)

4. 受講要領

(1) 打上げ実験に現地に取材に来られる方が未定の場合でも、各社安全講習にご参加ください。下記(2)の署名用紙等を配布します。現地取材に来られる報道機関は受講必須です。

(2) 安全講習に出席されなかった方は、上記(1)の署名の提出をもって安全講習の出席者から説明を受け、内容を十分に理解した事を示す意思表示といたします。

(3) 式次第は以下のように予定しています。

第1部 安全講習(13:30-14:30)

第2部 機体・ペイロード公開(14:40-16:30)

1. 主催者挨拶

2. プライムパートナー企業ご挨拶

3. 機体概要説明

4. ペイロード紹介

5. 質疑

6. 記念撮影

(4) 当日受付けをいたしますが、受付名簿にご来場の目的として「安全講習の受講」、「映像・音声の記録」のいずれかに○をつけていただきます。映像・音声を記録される方は安全講習の聴講に集中できないと思いますので、同じ方が打上げ実験の取材をされる場合は受講された方から内容の説明を受けていただきます。

(5) 安全講習の際に、打上げ実験の取材申込書と車両の事前登録証を配布します。

5. 申込みフォーム

<https://forms.office.com/r/275z83WzjL>

6. 技術的な問い合わせ先

Team KROX 事務局 佐藤哲朗

E-mail: satou3530@comet.ocn.ne.jp



別紙 2

